

相模原市議会議員(南区選出)

自由民主党神奈川県相模原市南区第八支部長

ニューズレター
2018初夏号

古内 明

～天気はかえられなくても 政治はかえられる!～



〒252-0301 相模原市南区鷺野森2-27-7-303

tel&fax 042-744-4218

✉ furuuchiakira8@gmail.com

あっ危ない! から始まった 安全安心のための条例

相模原市がんばる中小企業を応援する条例 に続く議員立法第2弾!

平成29年12月25日施行

相模原市安全に安心して 自転車を利用しようよ条例 が制定されました

自転車安全で適正に利用するため、交通ルールやマナーの遵守、ヘルメットの着用、職場や学校などでの啓発、交通安全教育の実施などのほか、自転車事故に備えた保険への加入を義務付ける条例が制定されました。

自転車安全で適正に利用するために【条例の主な内容】

- 交通ルールやマナーの向上**
ヘルメットを正しく着用し、自転車安全に利用しよう
- 自転車事故に備えた保険等の加入が義務化**
(平成30年7月1日施行)
自転車事故でも高額な賠償金を求められる場合があります。自転車を利用される方は自転車賠償保険等に加入してください。
事業で使用する自転車や、市外にお住まいの方でも利用範囲内で道路、歩道などに駐車や利用する場合は必ず加入してください。
詳しくは、条例をご覧ください。
- 子どもや高齢者などはヘルメットを着用**
自転車事故で亡くなった方が増えるのが深刻な課題です。特に子どもや高齢者などが自転車を利用する際にはヘルメットを着用するよう家庭での指導や啓発を行います。
- 地域や家庭、職場、学校などでの啓発や交通安全教育の実施**
ヘルメット、マナーを守ることを、自転車安全に利用する方へ、家庭、職場、学校などで、啓発や教育を行います。

相模原市

自転車を運転していて事故になるような危ない思いをしたことはありませんか？
自転車も運転するうえでは車両と同じにも関わらず、車両だという認識が乏しく、ルールが守られていない場面によく遭遇します。例えば右側通行、夜間の無灯火運転、スマートフォン片手の運転など。

2年前の警視庁の調べでは、自転車が当事者となった交通事故の割合は、年々増加しており、相模原市内においても自転車事故が増えています。さらには自転車と歩行者の事故の賠償金として、自転車を運転していた加害者に1億円近い賠償金支払いの判決も出ています。

このように、交通事故が起こると加害者・被害者共に不幸に見舞われます。そこでまずは、自転車を運転する上で交通ルールや交通マナーを知ってもらい、事故を減らしたい!不幸にも事故が起きてしまったとしても負担を減らしたい!との思いに至りました。

そこで以前の条例づくりの経験を活かし、素案作りに着手!

会派内での打ち合わせや他党派との協議、関係団体との意見交換等を経て、昨年12月の定例会議に議提議案として提出し、可決され条例が制定されました。

この条例ではまず交通ルールや交通マナーを知ってもらう事に重点をおいています。自転車も車両ですから当然信号無視や一時停止無視はいけません。

また、この条例では対人傷害等保険に加入することを義務化しています。「私だけは事故を起こさない」と過信せず、万が一の事故に備えて保険には確実に加入しておくようにしましょう。

ちなみに、**自動車を所有している方は、特約として自転車事故にも対応するような保険が付加されている場合がありますので一度確認してください。**

自転車に乗るときは、ルールを守り、マナーに心がけ安全運転いたしましょう。

道路の不具合通報アプリについて

日々の生活や通勤・通学途中で道路の不具合を感じた事はありませんか？
市では現在、各区の土木事務所がパトロールカーを使い、道路の見回りを行い目を光らせて走っていますが、日々使っているからこそ気がつく違和感や不便さがあるかと思われます。
そこで市民の方々に協力いただき、事故を未然に防ぐ情報収集をおこなっています。**それが道路の不具合を通報していただくアプリ「パッ!撮るん。」**です。
現在、多くの方が利用しているスマートフォンにダウンロードしていただければ利用できますので、ご協力宜しくお願いいたします。



「パッ!撮るん。」ダウンロードはこちらから

iPhone端末をご利用の人

Android端末をご利用の人

「パッ!撮るん。」で即通報

古内 明

検索

平成19年の初当選以来、市民生活を守りながら市政繁栄・地域発展に向け、ブレることなく議員活動を続けています。議会は市政のチェック機関だと言われていますが、改善要望だけではなく、市側に対してしっかりと提言できるスタンスでいなければ！と日々考えています。各分野を見てみると、解決しなければならない多くの課題がありますが、少子高齢化対策が最重要課題ではないかと考えます。

また、その分野に予算建てするには経済対策も必要です。

課題解決への特効薬はありませんが、日々の議員活動の中で意識するように心がけています。



子ども 子育て支援



保育所待機児童対策

待機児解消なくして子育てが語れないほど多くの保護者の悩みの種である。公だけでは限界があるので、民間企業等からの応援を今以上加速させ、待機児解消を実現していくよう施策展開を促進中。

生徒就学援助費

経済的理由により就学が困難な生徒・児童に対し就学経費の援助を拡充することとなりました。

小児医療費助成事業 (拡充)

子育てに伴う経済的負担を少しでも軽減するため、小児医療費助成の対象年齢の上限を小学校6年生から中学校3年生までに拡大し、医療費の一部を助成することが決まりました。(詳細については、市のHPをご覧ください)

高齢者福祉



福祉の充実

高齢者が可能な限り在宅で安心して暮らしていくためには福祉サービスの充実と地域での支え合う活動が重要と考えます。需要と供給のバランスが整うような施策を考案中です。

整備促進

特別養護老人ホーム等の待機者も年々増加しています。安定的介護サービスの供給体制を確保するため、社会福祉法人施設建設費の一部を補助し、整備を促進し課題解決に向け施策展開中。

賛成！

認知症の人の「徘徊」を言い換えて「ひとり歩き」と言おう！という主張があります。「徘徊」って言葉にすぐ違和感があるため同感です。

経済対策



中小企業景気対策

市では現在、経営の安定や発展のため事業資金融資を金融機関と協調しますが、融資を受ける算段より前に、いかに仕事量を増やす施策を講じるかが急務だと考えます。政府によると、国の景気は回復傾向にある！と発表していますが、まだまだ市内の事業者には波及していません。現在、多くの企業団体が災害時には復旧のため協力します！と表明して下さっていて、市と災害時〇〇〇の協力に関する協定を締結していただいております。そのような企業のため、経済対策をしっかりと構築し、協定を結んで良かったな！と、思われるような施策を講じなければならぬと考えます。

子どもたちが安全に安心して遊べる場を！



改修前

改修後

午前中は乳幼児とその保護者、午後は小学生で賑わう鹿島台こどもセンターは、平成9年にオープンしてから20年が経過します。建設当時としては斬新なデザインで、随所にこだわりがみえる建物です。日頃より、関係者がしっかりと館内外のメンテナンス作業をおこなっていますが、経年劣化は致し方ないものであります。遊戯室床の痛みも激しく、ササクレが目立つようになってきました。裸足で遊びまわる子どもたちにトゲが刺さったら大変との事で、指導員がやすり等で補修していましたが、そろそろ限界のようでありました。施設責任者が改修要望を提出しても、予算がないとの理由で却下状態・・・そこで、管理者である市の担当部局と話し合い、予算があるとか無いとかの問題ではなく、子どもたちの安全・安心のために思うなら借金してでも守っていくのが大人の責任だ！と訴え、緊急的に予算を確保し今回の改修となりました。